

BG270B10 No.2

必ずお読みの上、大切に保管してください

**BG271000**  
**ラボード LXS**

取扱説明書・保証書

 **Senoh**



## ■はじめに

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前に本書をよくお読みになり、安全に正しくお使いいただきますようお願いいたします。

## ■取扱説明書（本書）についてのご注意

- 本書は大切に保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り換えいたします。

# 目次

## はじめに

1	安全にお使いいただくために	6
1-1	お使いになる方への注意事項	7
1-2	本製品についての注意事項	8
1-3	ご利用にあたって	10
2	各部の名称	11
3	お使いになる前に	
3-1	付属品の確認	13
3-2	設置場所	13
3-3	移動のしかた	13
3-4	電源	14
3-5	電源の入れ方・切り方	15
3-6	環境設定	16
3-7	水平調節	24
3-8	張り調節	24
3-9	片寄り調節	25
4	使用方法	
4-1	ボタン・スイッチの機能	26
4-2	表示内容	28
4-3	走行者センサ	29
4-4	初めて使用される方への指導	30
4-5	緊急時の動作	30
4-6	トレーニング	31

5	お手入れ	
5-1	各部のお手入れのしかた	33
5-2	日常点検	33
5-3	定期点検	34
5-4	カバーの外し方	34
6	トラブルが発生したとき	
6-1	トラブル内容の説明と対処	35
6-1-1	全般	35
6-1-2	環境設定の設定値による不具合	37
6-2	エラーと処置	38
7	交換部品・標準使用期間	
7-1	交換部品一覧	40
7-2	標準使用期間	40
8	製品仕様	41
9	付録	
9-1	消費カロリー一覧表	42

# 1. 安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、お客様（本製品を管理される方および使用される方）への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。記載事項を必ずお守りください。

また、本製品は、適切な指導や管理を怠ると、お使いになる方に重大な事故を引き起こす可能性があります。管理される方は、本製品の特性を熟知し、お使いになる方に使用方法、注意事項、緊急時の的確な対処方法について指導をしてください。

注意事項は、想定される危害や損害の大きさに応じて「危険」、「警告」、「注意」に分けています。

危険	この表示の注意事項を守らないで誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が高いもの
警告	この表示の注意事項を守らないで誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があるもの
注意	この表示の注意事項を守らないで誤った取り扱いをすると、中程度の傷害または軽傷を負うか、物的損害のみが発生する可能性があるもの

## ■免責事項について

- 地震や水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（時間および事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は一切の責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 1-1 お使いになる方への注意事項

※管理される方は利用される方にこの内容を必ず説明してください。

本製品の使用対象は下記の条件をすべて満たす人です。

体重	: 110kg 以下
身長	: 140cm 以上
年齢	: 12 歳以上

### 警告

- 本製品はその機能上、高速回転する走行ベルトが露出しているため、走行ベルトに巻き込まれないように十分注意してください。回転中の走行ベルトやローラーに指や髪の毛を近づけないでください。指の切断、髪の毛の巻き込まれなど事故の原因となります。
- 使用前に、血圧など健康状態をチェックし、運動に支障のないことを確認してください。健康状態に悪い影響を与えることがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器 ICD を装着されている方は、使用をご遠慮ください。本製品が発する電波ノイズによりペースメーカ、ICD の作動に影響を与えることがあります。
- 病気や傷害（特に下記）のある方は、医師と相談の上で使用してください。健康状態に悪い影響を与えることがあります。  
心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、不整脈など、その他妊娠中や身体に不安のある方。
- 使用中に胸の痛み、めまいなど身体に異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。健康状態に悪い影響を与えることがあります。
- 下記のような正しくない乗り方はしないでください。転倒や破損の原因になります。
  - ・前カバーを踏む
  - ・手すりにぶらさがる
  - ・複数人数で同時に使用する
  - ・後ろ向きに乗る
  - ・走行ベルトがまわっている状態での飛び乗り、飛び降り
- 本製品に異常（動作不安定、発熱など）を感じた場合、ただちに使用を中止してください。けがなど事故の原因となります。
- はだしや運動に適さないはきもので使用しないでください。けがなど事故の原因となります。
- 身体障がいのある方や特別な医学的状态にある方は、必ずトレーナーなどに付いてもらい適切な監視の下でご使用ください。

## 1. 安全にお使いいただくために

### 注意

- ご自分の能力以上の速度、運動量での使用はしないでください。健康状態へ悪い影響を与えたり、けがなど事故の原因となります。
- 運動開始時には、ウォームアップをしてください。健康状態に悪い影響を与えることがあります。
- 初心者の方は、高速度で使用しないでください。転倒の原因となります。
  - ・手すりにつかまり、1～2km/hで歩き、操作などに慣れてから、速度を上げてください。
- タオルやウェアは手すりにつかまらないでください。使用中に落ちると、走行ベルトに巻き込まれて転倒や故障の原因となります。
- 制限体重以上の方、制限身長未満の方は使用をご遠慮ください。けがや故障の原因となります。
- 携帯電話やスマートフォンの操作をしながらの運動はご遠慮ください。転倒の原因となります。

### 1-2 本製品についての注意事項

### 警告

- 本製品に幼児を近づけないでください。けがなどの事故の原因となります。
- 引火・爆発の恐れのある場所では使用しないでください。発火事故の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- 指定の電源以外では使用しないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品を分解、改造しないでください。感電、発熱、発煙、発火、破損や動作不良の原因となります。修理などは当社にご相談ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードが本製品や器具などの下敷きにならないようにしてください。発熱、発火、感電、破損の原因となります。
- 使用中に本製品から異臭がするときは、すぐに使用をやめて電源を切ってください。けがなど事故や発熱、発火の原因となります。



 注 意

- 本製品は屋内専用です。屋外で使用しないでください。また次のような所には置かないでください。故障や劣化の原因になります。
  - ・ 湿気やホコリの多い場所
  - ・ 高温になる場所
  - ・ 直射日光の当たる場所
  - ・ 極端な低温環境下
- 電源プラグとコンセントの接続は定期的を確認し、プラグを抜いてほこりを除去してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。ショートによる発火の原因となります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えないでください。階段や段差のある所ではキャスタを使用しないでください。故障、破損の原因となります。

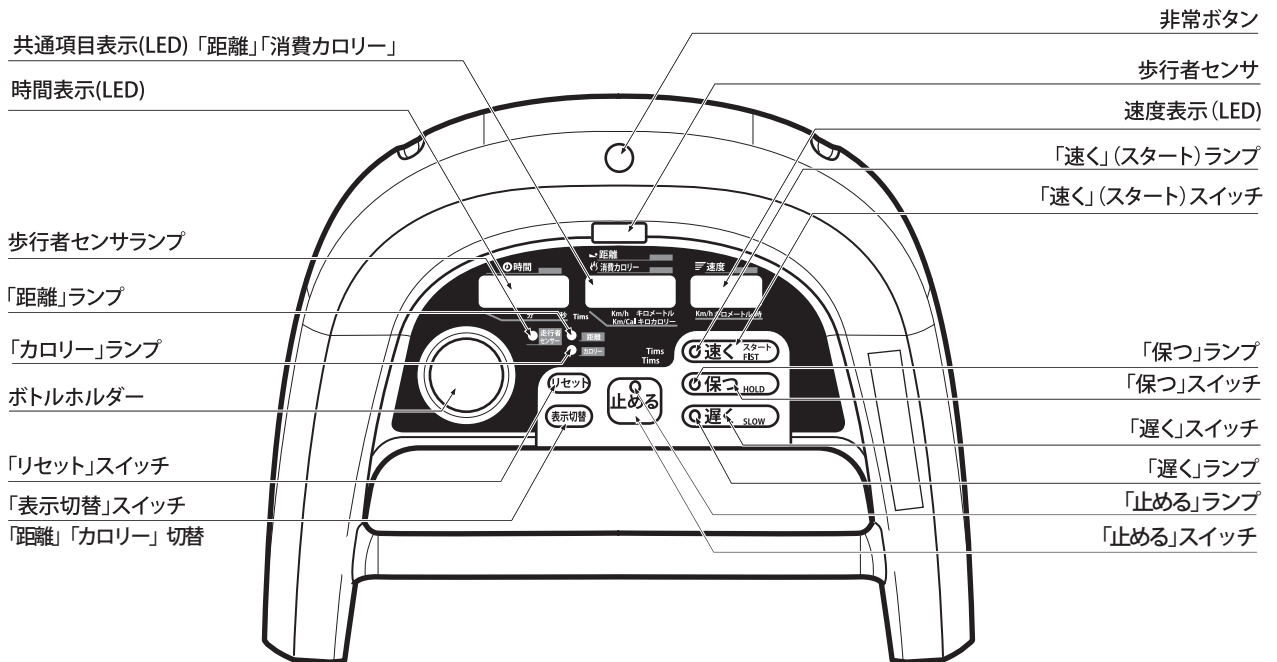
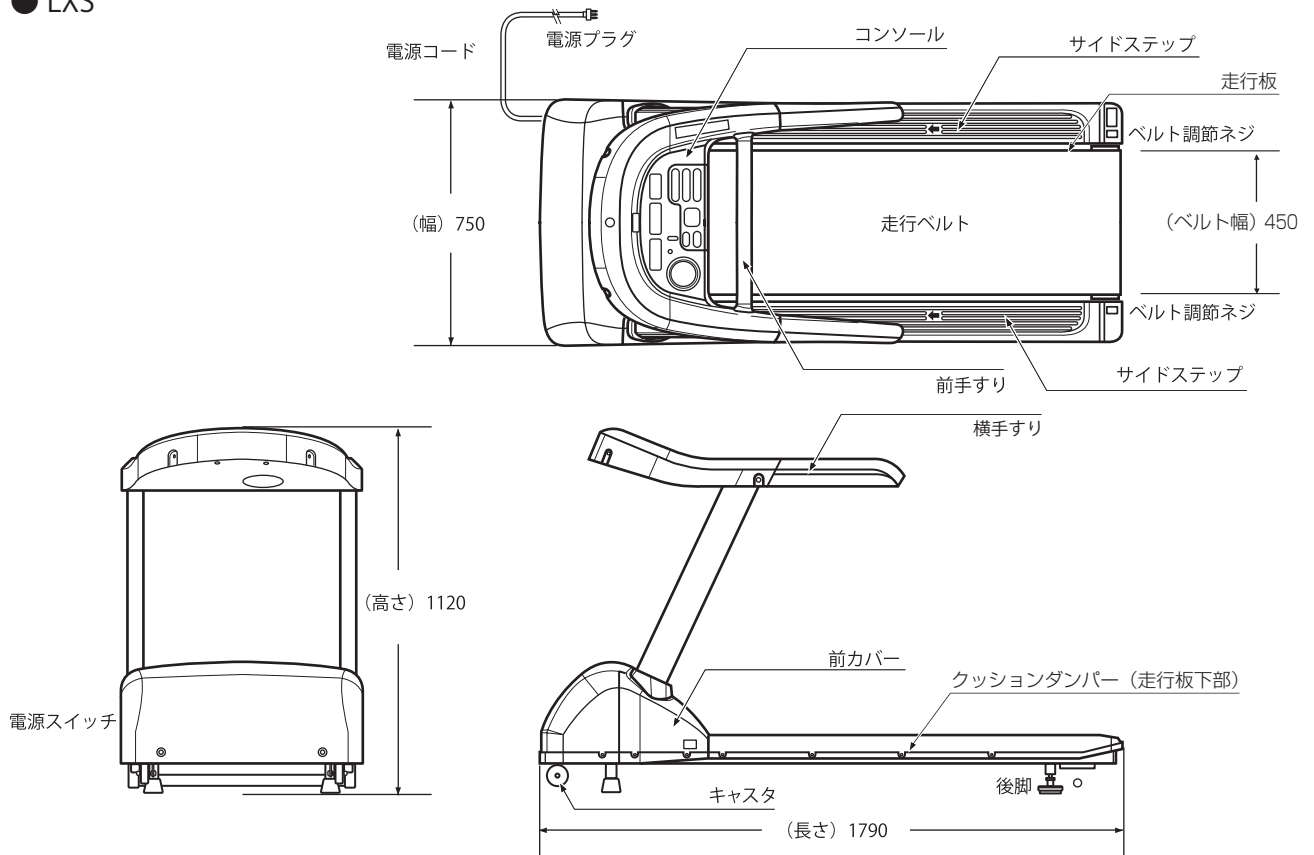
## 1. 安全にお使いいただくために

### 1-3 ご利用にあたって

- 本製品は、健康の維持増進、行動体力の向上および運動療法における利用を目的としています。  
運動療法における利用を目的として本製品を使用する場合は、必ず医師など有資格者の管理のもとで使用してください。
- 使用前には日常点検をしてください。  
また、定期的に保守点検をご依頼ください。故障や劣化による怪我など事故を未然に防ぐことができます。
- トレーニングの強度、量は体調や環境にあわせて内容を調節してください。  
同じ人でも、体調や環境（室温など）によって、適切なトレーニングの強度、量は変化します。
- 一般のテレビ・ラジオなどをお使いになるときは、本製品から遠ざけて使用してください。  
テレビ・ラジオなどに雑音を与える場合があります。

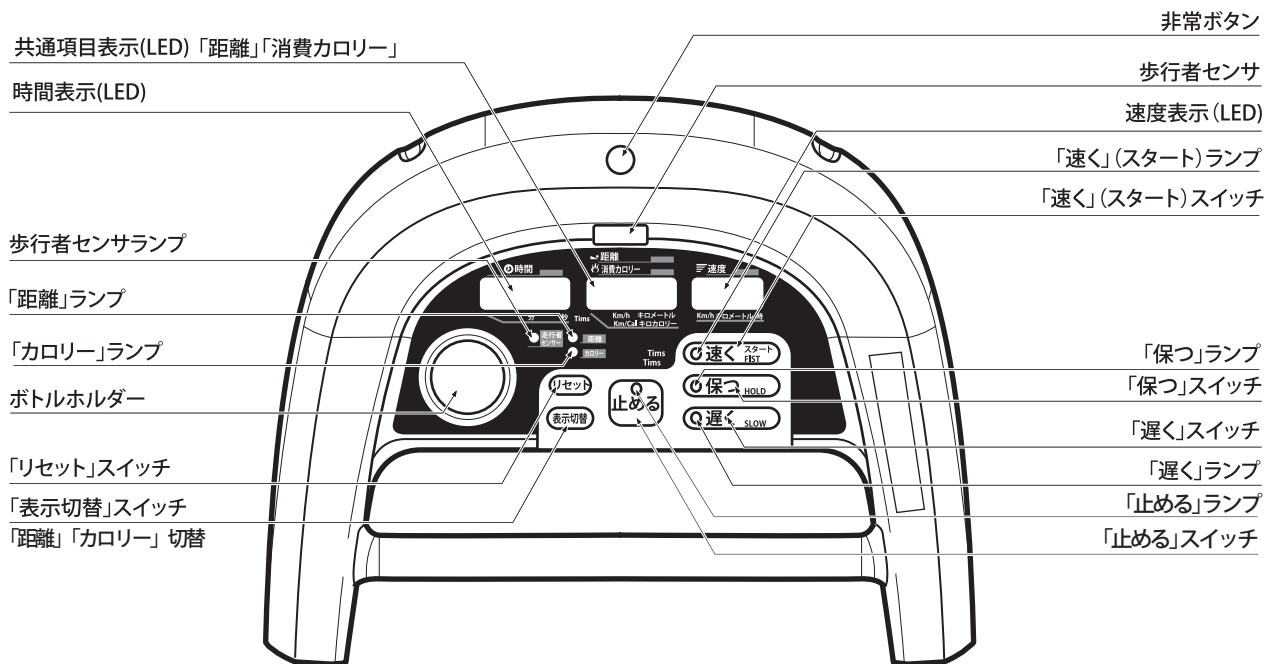
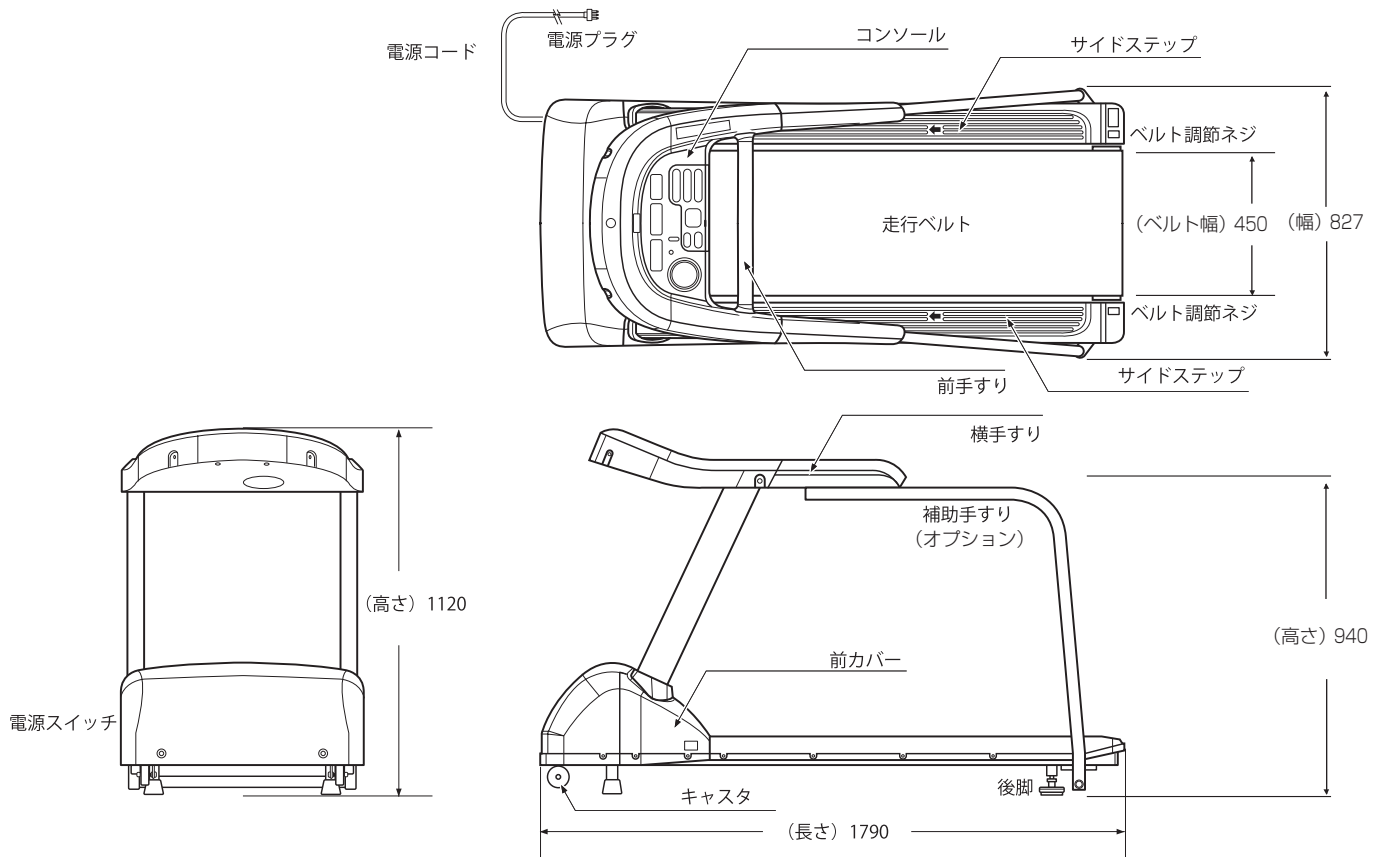
## 2. 各部の名称

### ● LXS



## 2. 各部の名称

### ● LXS (手すり付き)



## 3. お使いになる前に

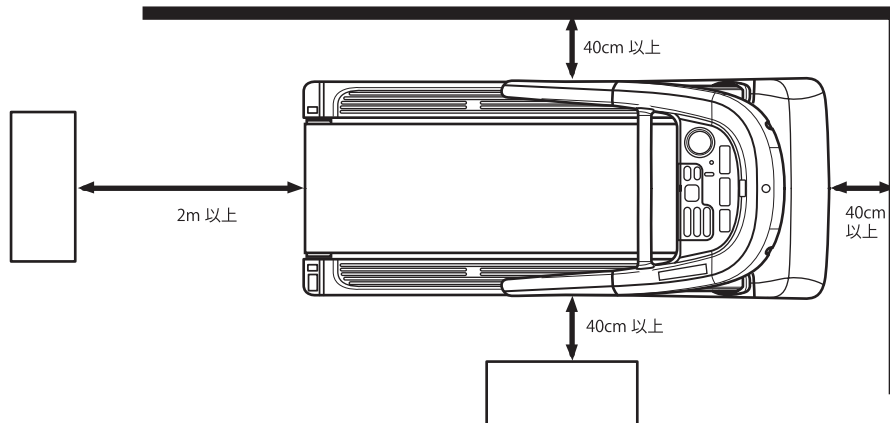
### 3-1 付属品の確認

以下の付属品がすべて揃っていることを確認してください。

- ・取扱説明書・保証書（本書）：1
- ・T型六角棒スパナ（走行ベルト調節用）：1

### 3-2 設置場所

- 本製品を爆発性・可燃性の恐れのある場所や、水まわりなど感電の恐れのある場所に設置しないでください。
- 本体前方は通行ができ、メンテナンスがしやすいよう壁から40cm以上離してください。
- 転倒して放り出されたときぶつからないよう、後方2mには障害物を置かないでください。
- 本体を2台以上並置する際は「非常ボタン」を押す場合に通行でき、またメンテナンスがしやすいよう間隔を40cm以上離すようにしてください。



### 3-3 移動のしかた

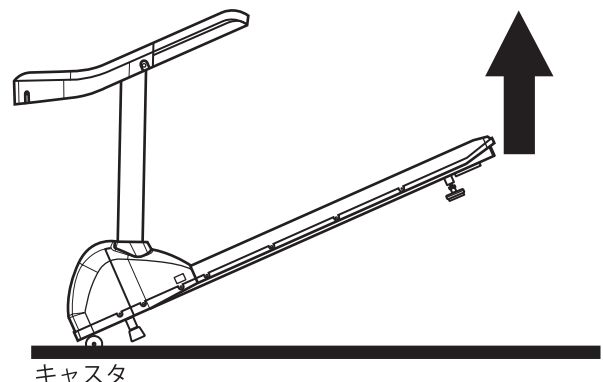
- 前側にキャストがついていますので、ステップ後方のフレーム下側を持ち上げて移動できます。

※移動時には必ずサイドステップの下の鉄製フレームに手がかかるように持ってください。

※サイドステップに手がかかると、サイドステップの破損や本製品の落下の恐れがあります。

※段差のある所ではキャストを使用しないでください。

※重量物ですので、2人以上で持ち上げてください。



### 3. お使いになる前に



#### 警告

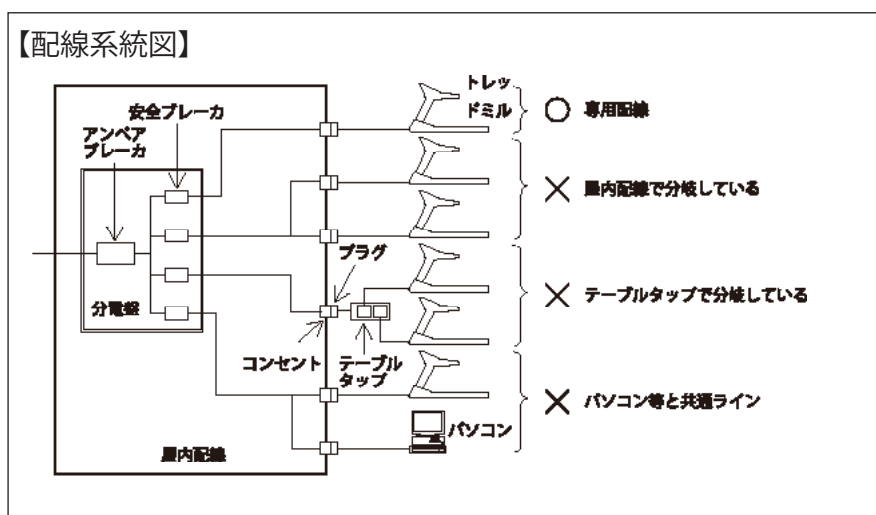
- 移動中は手や足を巻き込まれないよう注意してください。
- 移動中はサイドステップを持たないでください。

#### 3-4 電源

本製品を安全にお使いいただくためには、指定の電源が必要です。下記の電源をご用意ください。

##### ■専用配線

- トレッドミル 1 台につき、1 つの安全ブレーカ（分電盤内） = 1 本の配線 = 1 つのコンセントで構成された電源をご用意ください。
- 1 つの安全ブレーカから分岐させた配線では、不具合発生時に、他のトレッドミルの急停止やパソコン等のデータが消失する可能性があります。



##### ■電源電圧

- 本製品の電源電圧は AC100V です。  
※電源コードやコンセントを間違えないように接続してください。  
電圧を間違えると、機器が破損します。
- 本製品は停止時および走行時において指定電源電圧の  $\pm 10\%$  以内での動作を保証しています。電圧降下があると停止することがありますので、分電盤からコンセントまでの距離を配慮し、配線抵抗をなるべく小さくしてください。  
※節電システム（電源電圧を下げるシステム）を導入の際は、特に注意ください。

##### ■アース（接地）

- 感電事故をふせぐため、必ずアースされた電源に接続してください。
- アースは、D種接地工事（接地抵抗：100  $\Omega$  以下）を推奨します。

##### ■適合コンセント

コンセントは、下記の電圧・電力量を満たすものを使用してください。

##### ・LXS

接地 2P 100V 15A（推奨品 パナソニック WF3002 WK 相当）



警告

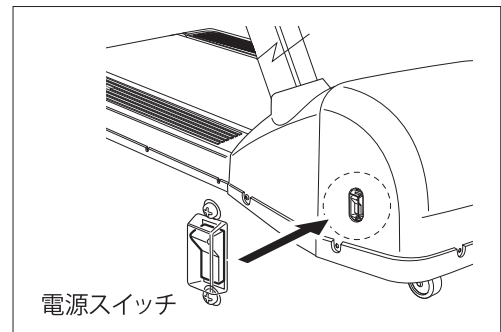
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードが本製品や器具などの下敷きにならないようにしてください。発熱、発火、感電、破損の原因となります。
- 電源プラグは電源スイッチが切れている状態で抜き差ししてください。故障などの原因となります。

3-5 電源の入れ方・切り方

- 電源スイッチの入（-）側を押すと「入（オン）」、切（○）側を押すと「切（オフ）」になります。
  - 電源が入るとコンソールの LED ランプが点きます。
- ※スイッチは丁寧に押してください。

（備考）エラーの解除などで電源を入れ直すときは、一旦電源を切って約 1 分ほど経過してから入れてください。電源を切ってすぐに入れると正常に動作しないことがあります。

※スイッチは防水カバー付きです。



警告

電源は、走行ベルトが停止している状態で切ってください。

### 3. お使いになる前に

#### 3-6 環境設定

本製品は、各種環境設定・調整・確認ができます。必要な項目を変更してください。

##### ■環境設定メニュー表示について

「表示切替」スイッチを押しながら「電源」を入れると、環境設定メニュー表示となります。  
 LED テストモード / 積算距離確認モード / 上限速度設定モード / 下限速度設定モード  
 走行ベルト交換確認モード / 蛇行調節モード / トレーニング上限時間設定モード  
 音量調整モード / オートリセット時間設定モード / 現在時刻表示モード

##### 操作方法

「保つ」スイッチと「遅く」スイッチでモードを選択し、「表示切替」スイッチで決定します。  
 「リセット」スイッチを押すと、設定内容をメモリに記憶して走行可能状態に戻ります。

##### ■環境設定メニュー表示一覧

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
なし	『LEd』      LEd	『En. 0』    En.0	LED テストモード
なし	『Addi』     Add.	『En. 1』    En.1	積算距離確認モード (Addition distance)
なし	『hiSP』     hiSP	『En. 2』    En.2	上限速度設定モード (Hi Speed)
なし	『LoSp』     LoSP	『En. 3』    En.3	下限速度設定モード (Low Speed)
なし	『bEch』     bEch	『En. 4』    En.4	走行ベルト交換確認モード (Belt exchang)
なし	『MEAd』     MEAd	『En. 5』    En.5	蛇行調節モード (Meandering adjustment)
なし	『trti』      trti.	『En. 6』    En.6	トレーニング上限時間設定モード (Traning time)
なし	『Vol』       Vol	『En. 7』    En.7	音量調整モード (Volume)
なし	『rEti』      rEti.	『En. 8』    En.8	オートリセット時間設定モード (Auto reset time)
なし	『noti』      noti.	『En. 9』    En.9	現在時刻表示モード (Now time)

※速度表示 (LED) の『En』と『1』の間には『.』(小数点)があります。また、『En』は環境 (Environment) の略です。

##### ※初期設定 (工場出荷時)

上限時間	99分59秒	音量設定	3
最高速度	10km/h	時刻設定	現時刻
最低速度	0.2km/h	積算距離	0km
オートリセット時間	3分	ベルト使用距離	0km



■ LED テストモード

各 LED が正常に機能するか確認するモードです。

実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて LED テストモードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②全ての LED およびランプが 3 秒間点灯した後、全ての LED およびランプが 3 秒間消灯します。
- ③その後、共通項目表示 (LED) に『En.0』が点滅表示、速度表示 (LED) に『End』と点灯表示されます。
- ④「リセット」スイッチを押してテストを終了し、環境設定メニュー表示に戻ります。  
LED テストモードで点灯または消灯しない LED もしくはランプがある場合は、交換が必要です。

該当は以下となります。

時間表示 (LED) / 共通項目表示 (LED) / 速度表示 (LED) / 「距離」ランプ / 「カロリー」ランプ / 「止める」ランプ / 「速く」(スタート) ランプ / 「保つ」ランプ / 「遅く」ランプ / 走行者センサランプ

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
なし	『En.0』 <b>En.0</b>	『End』 <b>End</b>	上記③の場合

●積算距離確認モード

現在までの積算距離を確認するモードです。

実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて積算距離確認モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②時間表示 (LED)、共通項目表示 (LED) に積算距離が 0.01km 単位で表示されます。  
例 1: 積算距離が 19385.24km の場合は、時間表示 (LED) に『193』、共通項目表示 (LED) に『85.24』が表示されます。  
例 2: 積算距離が 0.00km の場合は、時間表示 (LED) に表示せず、共通項目表示 (LED) に『0.00』が表示されます。  
積算距離確認モード中であることを示すために、速度表示 (LED) に『En.1』が点滅表示されます。
- ③「リセット」スイッチでモード終了し、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
『193』	『85.24』	『En. 1』 <b>En. 1</b>	上記②、例 1 の場合
表示なし	『0.00』	『En. 1』 <b>En. 1</b>	上記②、例 2 の場合

### 3. お使いになる前に

#### ●上限速度設定モード

最高速度を設定するモードです。安全のため、最高速度を制限したいときに設定します。

実施方法

①環境設定メニュー表示にて上限速度設定モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。

②速度表示 (LED) に最高速度『h○○』と表示されます。

例：表示が、『h02』なら 2km/h です。

2km/h から 10km/h (1km/h 単位) まで設定可能であり、「保つ」スイッチと「遅く」スイッチで変更します。上限速度設定モード中であることを示すために、共通項目表示 (LED) に『En.2』が点滅表示されます。

③「リセット」スイッチを押すと。設定内容が確定され、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
表示なし	『En. 2』 En.2	『h02』 h02	上記②の例の場合

#### ●下限速度設定モード

最低速度を設定するモードです。最低速度を変更したい場合に使用してください。

実施方法

①環境設定メニュー表示にて下限速度設定モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。

②速度表示 (LED) に最低速度 (小数点があるので注意) 『L○.○』と表示されます。

例：表示が、『L0.2』なら 0.2km/h です。

0.2km/h から 1.0km/h (0.1km/h 単位) まで設定可能であり、「保つ」スイッチと「遅く」スイッチで変更します。下限速度設定モード中であることを示すために、共通項目表示 (LED) に『En.3』が点滅表示されます。

③「リセット」スイッチを押すと。設定内容が確定され、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
表示なし	『En. 3』 En.3	『L0.2』 L0.2	上記②の例の場合

## ●走行ベルト交換確認モード

現在までの走行ベルト使用距離を確認するモードです。

## 実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて走行ベルト交換確認モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
  - ②時間表示 (LED)、共通項目表示 (LED) に走行ベルト使用距離が表示されます。0.01km 単位で表示します。
- 走行ベルト交換確認モード中は、共通項目表示 (LED) に『En.4』が点滅表示されます。
- ③走行ベルト交換をした場合は、「表示切替」スイッチを3秒間長押ししてください。ベルト使用距離が0.00kmにリセットされます。
  - ④走行ベルト交換しない場合は、「リセット」スイッチを押すと環境設定メニュー表示に戻ります。

※ 19000km 以上の場合、アラームとして、「電源」投入時に共通項目表示 (LED) に『bELt』が表示されます。交換時期のため、ベルト交換が必要です。

 注意

走行ベルトを交換せずに距離をリセットしないでください。走行ベルトは使用状況を確認し、適切な交換を実施してください。走行ベルトの劣化は大きな事故の原因となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
『203』	『86.29』	『En. 4』    En.4	ベルト使用距離が20386.29kmの場合
表示なし	『0.00』	『En. 4』    En.4	ベルト使用距離が0.00kmの場合
表示なし	『bELt』    bELt	表示なし	「電源」投入時にベルト使用距離が19000km以上の場合

### 3. お使いになる前に

#### ●蛇行調節モード

走行ベルトの蛇行調節・張り調節、片寄り調節などを行う時に、このモードを使用します。  
実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて蛇行調節モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②速度表示 (LED) が点滅することを確認してください。  
蛇行調節モードは、共通項目表示 (LED) に『En.5』が点滅表示されます。
- ③速度スイッチ (「速く」(スタート) スイッチ・「保つ」スイッチ・「遅く」スイッチ) で、速度設定ができます。  
走行者センサの検出範囲に人がいなくても、走行ベルトが回転します。
- ④「止める」スイッチを押すと、走行ベルトが停止します。
- ⑤「リセット」スイッチで蛇行調節モードを終了し、環境設定メニュー表示となります。

#### 警告

回転している走行ベルトに手などを巻きこまれないよう注意してください。  
蛇行調節モードで実行中は、使用者を近づけないでください。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
『0.00』 ※通常の時間表示	『En. 5』 En.5	『0.0』 ※通常速度表示であるが、点滅状態	状態1とする。 時間0秒、速度0km/hとしている。
『0.00』 ※通常の時間表示	『0.000』 ※距離表示	『0.0』 ※通常速度表示であるが、点滅状態	状態1から表示切替を押したときを状態2とする。 時間0秒、速度0km/hとしている。 ※3秒後に、状態1へ戻ります。
『0.00』 ※通常の時間表示	『0.00』 ※カロリー表示	『0.0』 ※通常速度表示であるが、点滅状態	状態2から表示切替を押したときを状態3とする。 時間0秒、速度0km/hとしている。 ※3秒後に、状態1へ戻ります。

#### ●トレーニング上限時間設定モード

トレーニングの上限時間を設定します。

お使いになる方が多く、混雑しているときに一人当たりの使用時間を制限したいときなどに設定します。

実施方法

- ①環境設定メニュー表示にてトレーニング上限時間設定モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②時間表示に現在設定されているトレーニング時間 (分：秒) が表示されます。  
トレーニング上限時間設定モード中は共通項目表示 (LED) に『En.6』が点滅表示されます。
- ③希望するトレーニング上限時間になるまで、「保つ」スイッチと「遅く」スイッチで選択します。  
設定範囲は、5～95分 (5分毎) です。ただし、95分の次は、99分59秒です。
- ④設定時間を選択したら「リセット」スイッチを押します。トレーニング上限時間設定モードが終了し、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
『99:59』	『En. 6』 En.6	なし	トレーニング上限時間が99分59秒の場合

### ●音量調整モード

音量を調整するモードです。なお、安全上、消音に設定することは出来ません。

#### 実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて音量調整モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②共通項目表示 (LED) に現在設定されている音量設定値『Vol. ○』が表示されます。  
音量調整モード中は、速度表示 (LED) に『En.7』が点滅表示されます。
- ③「保つ」スイッチと「遅く」スイッチで変更できます。  
設定範囲は 1 から 7 までです。1 が最小音量、7 が最大音量となります。
- ④設定値を確定するために「リセット」スイッチを押します。音量調整モードが終了し、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
表示なし	『Vol. 3』 <b>Vol.3</b>	『En. 7』 <b>En.7</b>	音量設定値が 3 の場合

### ●オートリセット時間設定モード

オートリセット時間を設定するモードです。オートリセット時間を変更したい場合に使用してください。

#### 実施方法

- ①環境設定メニュー表示にてオートリセット時間設定モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②時間表示に現在設定されているオートリセット時間 (分：秒) が表示されます。  
オートリセット時間設定モード中は、共通項目表示 (LED) に『En.8』が点滅表示されます。
- ③希望するオートリセット時間になるまで、「保つ」スイッチと「遅く」スイッチで選択します。  
設定範囲は、10 秒 ~ 5 分 (10 秒毎) です。
- ④設定時間を確定するために、「リセット」スイッチを押します。オートリセット時間設定モードが終了し、環境設定メニュー表示となります。

時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)	備考
『3:00』	『En. 8』 <b>En.8</b>	表示なし	オートリセット時間が 3 分の場合

### 3. お使いになる前に

#### ●現在時刻表示モード

現在時刻を確認するモードです。このモードでは時刻の変更はできません。

実施方法

- ①環境設定メニュー表示にて現在時刻表示モードを選択し、「表示切替」スイッチを押します。
- ②現在時刻が、1秒毎に時間表示(LED)と共通項目表示(LED)に表示されます。(下表を参照)  
現在時刻表示モード中は、速度表示(LED)に『En.9』が点滅表示されます。
- ③秒を表示後、自動的に終了し環境設定メニュー表示となります。

項目	時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)
年	4桁で年表示	『YEAr』    YEAr	『En. 9』    En.9
月	2桁で月表示	『Mon』    Mon	『En. 9』    En.9
日	2桁で日表示	『dAY』    dAY	『En. 9』    En.9
時	2桁で時表示	『hour』    hour	『En. 9』    En.9
分	2桁で分表示	『Min』    Min	『En. 9』    En.9
秒	2桁で秒表示	『Sec』    Sec	『En. 9』    En.9

#### ●エラー履歴確認モード

エラーの履歴を確認するモードです。

最新に起きたエラーから過去12回までのエラー内容が確認できます。

(それより古いエラーは記録されず削除されます。)

トラブル発生時に問題解決としてご利用できます。

- ①「リセット」スイッチを3秒以上押し続けます。
- ②共通項目表示(LED)に「Er.1」、速度表示(LED)に何らかのエラー表示、たとえば「E4」と表示されます。これが最新で起きたエラーになります。  
※この時、時間表示(LED)は何も表示されません。
- ③「表示切替」スイッチを押すと最新から2回目のエラー表示「Er. 2」が確認できます。
- ④同様に「表示切替」スイッチを押す事で、12回分までエラー表示が確認できます。
- ⑤12回まで確認した後、さらに「表示切替」スイッチを押すと1回目に戻ります。

スイッチ操作	時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)
「表示切替」 スイッチ ↓ 押す	表示なし	Er. 1	E _ 4
	表示なし	Er. 2	E 10
	表示なし	Er. 3	E _ 0
	⋮	⋮	⋮
	表示なし	Er. 12	E _ 4

⑥各エラー表示中に「止める」スイッチを押す事で、エラーが起きた西暦・月日・時間を時間表示 (LED) で確認する事ができます。

「止める」スイッチを1回押すと、西暦が表示されます。「2015」→2015年など。

「止める」スイッチをもう1回押すと、月日が表示されます。「1207」→12月7日など。

「止める」スイッチをもう1回押すと、時間が表示されます。「23:59」→23時59分など。

「止める」スイッチをもう1回押すと、初回表示 (何も表示無し) に戻ります。

※エラー表示の時刻は少し誤差が生じる場合があります。目安としてご利用願います。

スイッチ操作	時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)
「止める」 スイッチ ↓ 押す	表示なし	Err.1	Err.4
	2015 (西暦)	Err.1	Err.4
	2015 (月日)	Err.1	Err.4
	23:59 (時間)	Err.1	Err.4

⑦「リセット」スイッチを押すと、走行可能状態に戻ります。

尚、時間表示 (LED) に西暦・月日・時間を表示中、「表示切替」スイッチを押す事で、そのまま次のエラーの西暦・月日・時間を確認する事ができます。

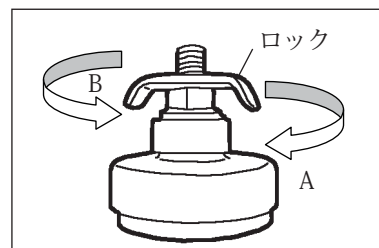
スイッチ操作	時間表示 (LED)	共通項目表示 (LED)	速度表示 (LED)
「止める」 スイッチ ↓ 押す	23:59	Err.1	Err.4
	17:50	Err.2	Err.10

### 3. お使いになる前に

#### 3-7 水平調節

本製品を移動して水平状態が変わると、走行ベルトが片寄りや本体自体の移動を引き起こすことがあるので、移動設置後は必ず水平調節をしてください。また水平調節後は、走行ベルトの片寄りに注意してください。

- ①ロックを図のA方向に回して緩めてください。
- ②キャストが床に着いている状態で、後ろ側左右の浮いている脚を、手で図のA方向に回して床に着けてください。
- ③ロックを図のB方向に回して固定してください。



#### ⚠ 注意

手を本製品に挟まないように注意してください。

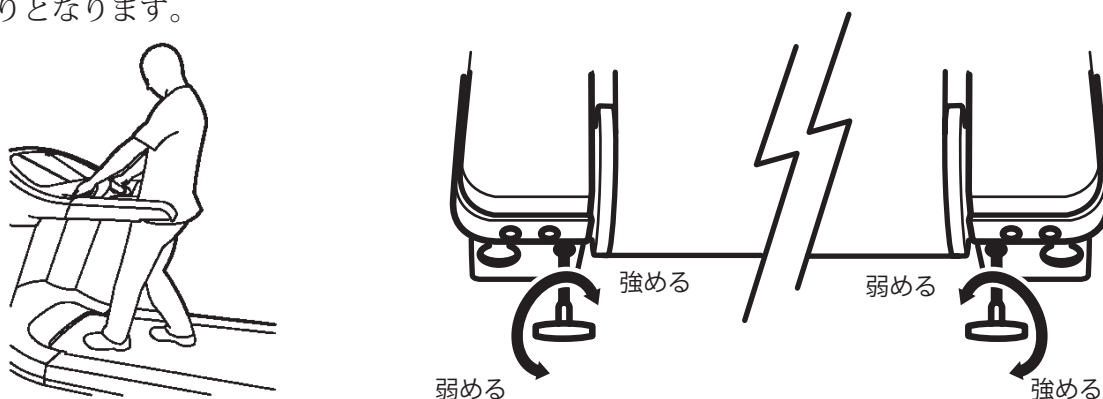
#### 3-8 張り調節

次の場合は「張り調節」を行ってください。

- 走行ベルトの張りが弱く、走行中に足を付いたとき止まるような感じがする場合
- 走行ベルトの張りが強いため、ローラーのベアリングに過度の負担がかかっている場合

#### ■ 張り調節の方法

- ① 環境設定の蛇行調節モードにします。(参照) P20
- ② 走行ベルトの張りを弱めます。付属のT型六角棒スパナで左右の走行ベルト調節ねじを、反時計回りに90度位ずつ回します。
- ③ 5km/hで走行ベルトを回転させ、図のように足で走行ベルトを止めるようにしたとき、走行ベルトが止まる状態になるまで②を繰り返し、張りを弱めた状態にします。
- ④ 次に、張りを強めます。T型六角棒スパナで左右の走行ベルト調節ねじを、時計回りに90度位ずつ回します。反時計回りで張りが弱くなります。
- ⑤ 5km/hで走行ベルトを回転させ、図のように足で走行ベルトを止めるようにしたとき、走行ベルトが止まらなくなるまで④を繰り返します。止まらなくなったところが適切な張りとなります。



#### ⚠ 警告

回転している走行ベルトに手など巻き込まれないよう気を付けてください。

#### ⚠ 注意

- 走行ベルトの張りは、強すぎても弱すぎても良くありません。
- 走行ベルトは左右均等に張ってください。張り具合が違くとベルトが片寄ります。



## 3-9 片寄り調節

次の場合は「片寄り調節」を行ってください。

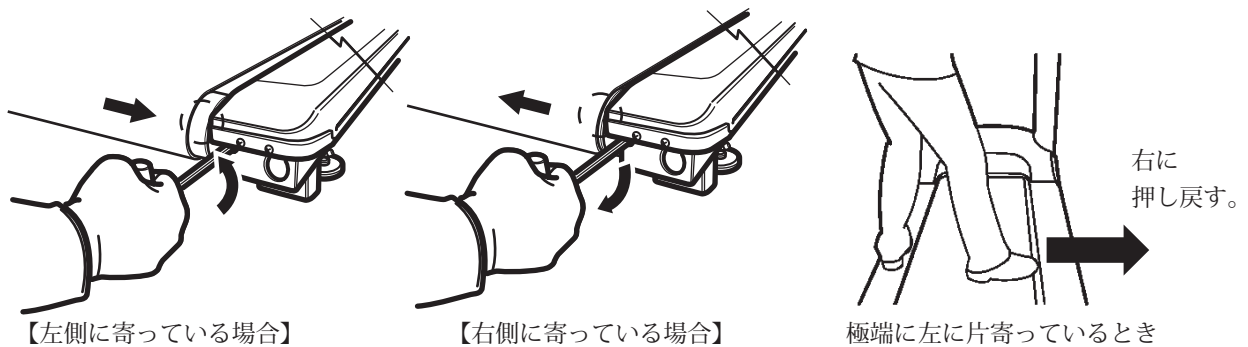
- 設置したとき
- 走行ベルトが片寄りしたとき

※走行ベルトは設置位置の水平具合によっても片寄りします。設置位置の移動後は、必ず水平調節を行ってから、片寄り調節を行ってください。(参照) P24

## ■片寄り調節の方法

- ①環境設定の蛇行調節モードの速度・傾斜チェックにします。(参照) P20
- ② 5km/h で走行ベルトを回転させ、走行ベルトの片寄りを見ながら付属の T 型六角棒スパナで右側の走行ベルト調節ねじを 90 度ずつ回します。  
※左側の走行ベルト調節ねじは調節しません。

(備考) 回転している走行ベルトが左右のどちらかに極端に片寄ったとき「遅く」と「保つ」スイッチで 2km/h まで減速させ、手すりにつかまりながら片足で走行ベルトを押し戻すようにしてから調節を行ってください。



警告

回転している走行ベルトに手などを巻き込まれないよう注意してください。

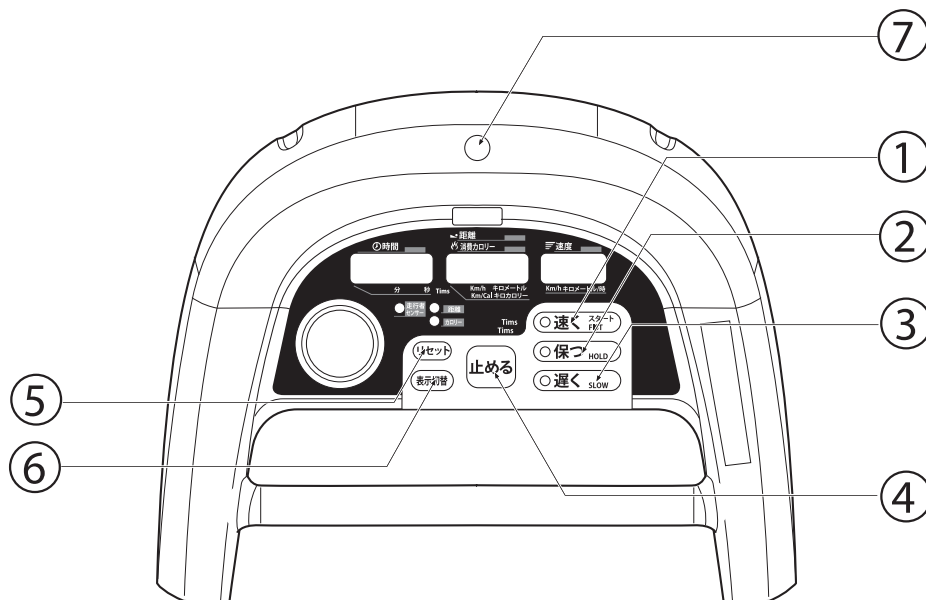
## 4. 使用方法

### 4-1 ボタン・スイッチの機能

※ボタン・スイッチが押されると確認音が鳴ります。確認音はそれぞれの状態で変わります。

- ①速度「速く」(スタート)スイッチ・・・ トレーニングを開始するとき、速度を速くしたいときに押します。押すと確認音が鳴ります。一度押すと、「保つ」スイッチを押すまで増速を始めます。ただし、2、4・・・km/h (2km/h ごと) および設定された最高速度になると自動的にその速度を保ちます。押し続けても増速しません。2km/h ごとに一旦速度を保ちますので、トレーニングに適した速度を選択しやすくなっています。  
※出荷時は最高速度が10km/h に設定されています。  
※最高速度に達したときに「速く」(スタート)スイッチを押すと速度表示(LED)が2回点滅し、増速出来ないことをお知らせします。  
※走行者センサランプが消えているときは、スタートできません。この時、速度表示(LED)が2回点滅し、スタート出来ないことをお知らせします。
- ②速度「保つ」スイッチ・・・・・・・・・・ 増速または減速しているときに押すと、そのときの速度を保ちます。押すと確認音が鳴ります。
- ③速度「遅く」スイッチ・・・・・・・・・・ 速度を遅くしたいときに押します。押すと確認音が鳴ります。一度押すと、減速を始めます。そのまま「保つ」スイッチを押さないと、最後は0km/h (走行ベルト停止状態) になります。
- ④「止める」スイッチ・・・・・・・・・・ 走行ベルトを止めるとき押します。押すと確認音が鳴ります。一度押すと、走行ベルトが減速して止まります。なお、走行ベルトが止まるまで他の操作を受け付けません。
- ⑤「リセット」スイッチ・・・・・・・・・・ 時間および共通項目表示をリセットするとき押します。押すと確認音が鳴ります。なお、走行中に「リセット」スイッチを押すと数値は0になりますが、トレーニング上限時間はリセットされませんが、そのため、上限時間から「リセット」スイッチを押した時の時間を差し引いた時間が経過した後に、自動的にトレーニングが終了します。
- ⑥「表示切替」スイッチ・・・・・・・・・・ 共通項目表示の距離と消費カロリーを切り替えます。

- ⑦非常ボタン・・・・・・・・・・・・・・ 非常ボタンはいつでも受け付けます。  
 非常ボタンを押すと警告音が鳴り、走行ベルトの動作を強制的に停止します。(走行者がバランスをくずしたり、本製品に異常が発生した場合など、緊急時に使用してください)  
 また、スイッチ操作を受け付けなくなり、速度表示(LED)に『E\_4』が表示されます。  
 解除方法は、一旦「電源」を切って約1分後に入れ直します。「電源」を切ってすぐに入れると正常に動作しないことがあります。



## 4. 使用方法

### 4-2 表示内容

#### LED表示

##### ●走行者センサランプ

適正走行範囲に使用者がいるとき表示パネルに青いLEDが点灯します。

##### ●時間表示

「速く」(スタート)スイッチが押された時からの時間を表示します。

また、「リセット」スイッチが押された時からの時間を表示します。

表示範囲は00分00秒～99分59秒です。

##### ●共通項目表示

###### ■距離

「速く」(スタート)スイッチが押された時からの走行距離を表示します。

また、「リセット」スイッチが押された時からの走行距離を表示します。

表示範囲は、10km未満の場合は0.000km～9.999km、10km以上の場合は10.00km～99.99kmです。

###### ■カロリー

体重60kgの人が走行で消費したカロリーを表示します。

表示範囲は、100kcal未満の場合は0.00kcal～99.99kcal、100kcal以上の場合は100.0kcal～999.9kcalです。

##### ●速度表示

現在の走行速度を表示します。

表示範囲は0.0km/h～10.0km/hです。

##### ●「距離」ランプ、「カロリー」ランプ

共通項目表示に距離が表示されているときは「距離」ランプが、カロリーが表示されているときは「カロリー」ランプが点灯します。

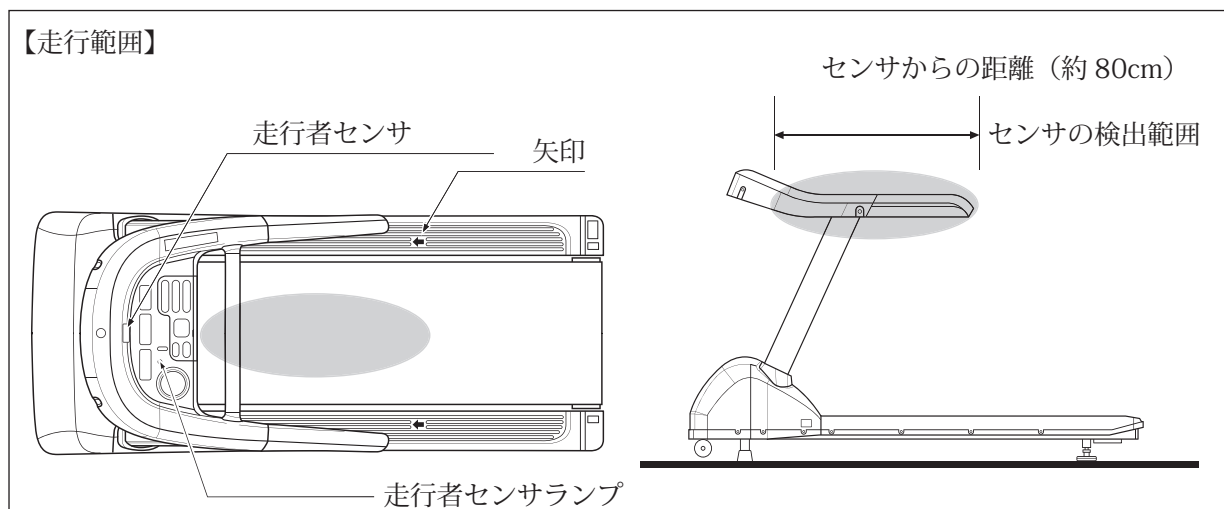
##### ●「速く」(スタート)ランプ、「保つ」ランプ、「遅く」ランプ、「止める」ランプ

スイッチを受付けることが可能なときに点灯します。

## 4-3 走行者センサ

使用者が走行ベルトの上（適性走行範囲）から外れると、走行ベルトを自動停止させる安全装置です。

- ①使用者が走行ベルトの適性走行範囲内に乗ると、走行者センサランプ（青）が点灯します。このランプが点灯している時は走行できます。また、「速く」（スタート）ランプ（赤）が点滅します。
  - ②走行中（走行ベルト回転中）に使用者が適性走行範囲から外れると、警告音が鳴りランプが消えます。約2秒以内に適性走行範囲に戻らないと、走行ベルトは「止める」スイッチを押したときのように自動的に止まります。
  - ③走行ベルトが自動停止したあと、速度表示（LED）にエラー『E 1 0』が表示されます。このエラーは約2秒後に自動的に解除されます。
- 「止める」スイッチを押したあとに適性走行範囲から外れたときはエラーになりません。
  - 適性走行範囲に人がいないとき、「速く」（スタート）スイッチを押しても動作しません。
- ※適性走行範囲はサイドステップの矢印を目安にしてください。



※使用者のウェアによって、検出範囲が変わります。たとえば、黒いウェアでは範囲が狭くなります。

また、ラメ入りや濃淡のあるウェアでは、正しく検出できない場合があります。

※本製品の後方に鏡やガラスなどがあると、正しく検出できない場合があります。

その場合は、本製品の位置や向きを変えてください。

※電源のアースが確実に接続されていないと、走行者センサが正常に作動しないことがあります。

## 4. 使用方法

### 4-4 初めて使用される方への指導

管理者は、初めて使用される方に、次の内容を説明してください。

- P7 使用対象
- P7 お使いになる方への注意事項
- P8 本製品についての注意事項
- P29 走行者センサ
- P27 非常ボタン
- P30 緊急時の動作
- P28 表示内容

■ 走行に慣れるまで次の練習をしてください。

- ① 走行ベルトをまたぎ、それぞれのスイッチを押して走行ベルトの動きを見てください。  
(備考) スイッチが確実に押されたかどうかは確認音で確認できます。
- ② 停止状態で走行ベルトに乗り、「速く」(スタート) スイッチを押して、手すりにつかまり 1～2km/h の速度で歩いて、歩き方に慣れてください。
- ③ 慣れたら手すりにつかまらず、普通に手を振り、ゆっくりと歩いてください。

#### 注意

- 危険を感じたら、ただちに「止める」スイッチを押してください。
- 自分の能力以上の速度での使用は、おやめください。

### 4-5 緊急時の動作

危険を感じたときは、ただちに「止める」スイッチを押してください。

歩行・走行を続けることができない場合は、左右の手すりにつかまり、両足を左右サイドステップに回避してください。

自分で操作できなくなったときは、助けを求め、非常ボタンを押してもらいます。

## 4-6 トレーニング

本製品にはクイックスタートが搭載されています。

## ● トレーニングを開始する

・ 走行ベルトに乗ります。

・ 「速く」(スタート)スイッチを押すと、確認音が鳴り、走行ベルトが動き始めます。

※ 走行者センサランプが消えているときは、スタートできません。この時、速度表示(LED)が2回点滅し、スタート出来ないことをお知らせします。

## ● 速度を調整する

・ 「速く」(スタート)スイッチを押すと、確認音が鳴り、走行ベルトが動きだし、2km/hまで増速します。

・ 途中の速度を保ちたいときは、「保つ」スイッチを押します。

・ 再度「速く」(スタート)スイッチを押すと2km/hごとに増速し、一旦保ちます。押し続けても増速しません。

※ 2km/hごとに一旦速度を保ちますので、トレーニングに適した速度を選択しやすくなっています。

なお、設定された最高速度になると自動的にその速度を保ちます。

※ 出荷時は最高速度が10km/hに設定されています。

※ 最高速度に達したときに「速く」(スタート)スイッチを押すと速度表示(LED)が2回点滅し、増速出来ないことをお知らせします。

・ 速度を遅くしたいときは「遅く」スイッチを押します。一度押すと、減速を始めます。

※ そのまま「保つ」スイッチを押さないと、最後は0km/h(走行ベルト停止状態)になります。

・ 増速または減速しているときに「保つ」スイッチを押すと、その速度を保ちます。

※ 最低速度未満では保持できません。

## ● トレーニングを終了する

・ 「止める」スイッチを押すと、確認音が鳴り、走行ベルトが減速して止まります。

・ トレーニング上限時間に達すると、自動的に減速停止します。

※ 走行ベルトが止まるまで他の操作を受け付けません。

## 4. 使用方法

---

### ● トレーニングの中断と再開

トレーニングを終了しても、「リセット」スイッチを押さなければ、それまでの走行データの続きから再スタートできます。ただし、トレーニング上限時間に達したときは再スタートできません。

### ● トレーニング時間の制限

#### ・ トレーニング上限時間の設定

使用時間の上限が設定されています。工場出荷時の設定は 99 分 59 秒です。

#### ・ トレーニング上限時間の予告

トレーニング上限時間の 10 秒前になると、時間表示 (LED) が点滅し続けます。

まもなくトレーニング上限時間に達し、自動的に走行ベルトが減速停止することを示します。この場合、「止める」スイッチを押して速度が 0km/h になっても時間表示 (LED) は点滅し続け、まもなくトレーニング上限時間に達する事をお知らせします。

#### ・ トレーニング上限時間に達成

トレーニング上限時間に達すると、自動的に走行ベルトが減速停止します。

走行ベルト停止後、時間表示 (LED) は点灯します。

なお、「速く」(スタート) スwitchを押すと時間表示 (LED) が 2 回点滅し、スタート出来ないことをお知らせします。再度トレーニングを始めるときは、「リセット」スイッチを押します。



## 5-1 各部のお手入れのしかた

## ●走行ベルト

走行ベルトは表面材と芯材の二重構造になっており、表面材と靴底は摩耗で少しずつ削れます。

削れ粉が走行ベルトの下に入ると走行感が悪くなることがありますので、走行台の回りの削れ粉を掃除してください。

走行ベルトの裏面にはワックスが塗布してあります。走行板にしみ出てくる場合は、乾いた布で拭き取ってください。（※必ずベルトが停止した状態で作業してください）

## ●フレームなどのお手入れ

フレーム・後部ローラー・カバー取付けビスなどに付いた汗やほこりなどをそのままにしておくと、錆が出ることがあります。

乾いた布できれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、よく水気を絞った布で水拭きした後から拭きしてください。（※必ずベルトが停止した状態で作業してください）

## ●樹脂カバー、サイドステップのお手入れ

樹脂カバーやサイドステップが汚れたときは、中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れを取り、水拭きします。その後乾いた布で拭きします。

傷や色落ちの原因になりますので、お手入れには磨き粉、シンナー・ベンジンなどの溶剤やたわし類は使わないでください。（※必ずベルトが停止した状態で作業してください）

※ロゴシール面を拭く際は、シールが剥がれる恐れがあるため、強く拭かないようご注意ください。

## 5-2 日常点検

安全にお使いいただくため、始業時に本製品の動作に異常がないか、必ず点検を行ってください。

次の事項を確認してください。

異常があったときは、使用を中止して当社までご連絡ください。

- ①本製品の周辺や下側に障害になるものがないこと。
- ②プラグがしっかりコンセントに接続されていること（ぬけかかっていないこと）。
- ③注意などの表示ラベルが読めること。
- ④走行ベルトに大きな傷などないこと。
- ⑤サイドステップにワックスや汗がついていないこと。
- ⑥走行してエラーがでないこと。  
（ただし非常ボタンを押したとき、走行者センサが作動したときは除きます）
- ⑦走行ベルトの回転中に異常な音や臭いがしないこと。
- ⑧走行ベルトの回転にむらがないこと。
- ⑨走行ベルトが片寄っていないこと。

## 5. お手入れ

### 5-3 定期点検

定期的に点検・整備をしてください。

次の事項を確認してください。

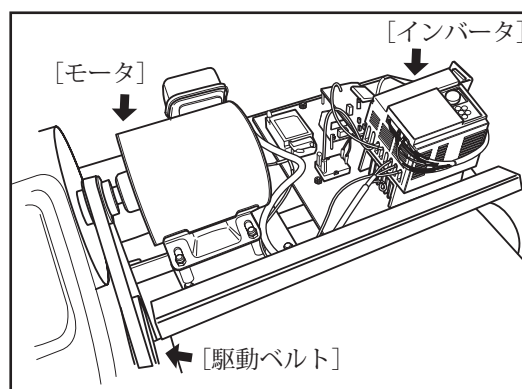
点検事項	時期
電源プラグの清掃	1ヶ月毎
走行ベルトの摩耗状態の確認	3ヶ月毎
フレームの破損・変形・錆など	6ヶ月毎
前下カバー内部	6ヶ月毎

### 注意

インバータの数値表示が点灯しているときに、配線等に触れた場合、感電する恐れがあります。電源を切り、インバータの数値表示が消えてから1分ほど経過した後に清掃してください。

#### ■前下カバー内部の点検

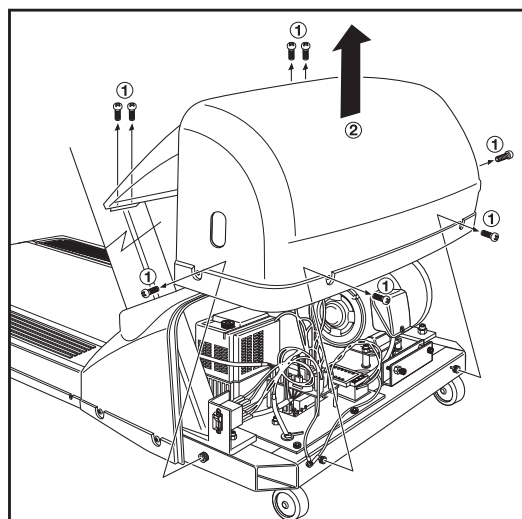
- ①電源を切り、プラグをコンセントから抜き、カバーを外します。
- ②内部に埃などたまっていた場合、掃除機などでとって下さい。なお、このとき配線を引っ張ったりしないように気をつけてください。



### 5-4 カバーの外し方

お手入れ・点検等で前カバーを外すときは、次の手順で行ってください。

- ①ねじを外します（+ドライバーで8ヶ所）
- ②カバーを上持ち上げます



### 注意

カバーを外す際は、電源を切り、プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

## 6. トラブルが発生したとき

### 6-1 トラブル内容の説明と対処

※下記の方法でも不具合が解消されない場合は当社までご連絡ください。

#### 6-1-1 全般

##### ■ワックスが走行板にしみ出る。

発生要因	・ベルトの片寄り。
対処方法	乾いた布であふれたワックスを拭き取ってください。（※必ずベルトが停止した状態で作業してください） 水平調節後、片寄り調節を行う。 (参照) P24 水平調節、P24 張り調節、P25 片寄り調節

##### ■走行ベルトが片寄る。

発生要因	・走り癖によって片寄った。 ・設置状態が水平でない。 ・ベルトの張りが弱い。
対処方法	水平調節後、片寄り調節を行う。 (参照) P24 水平調節、P24 張り調節、P25 片寄り調節

##### ■速度が遅く感じる。

(走行中、足を着くと走行ベルトが止まるように感じる、もしくは遅く感じる)。

発生要因	・走行ベルトの張りが弱い。 ・インバータ不良。 ・表示基板不良（故障、調整不良）。 ・施設の電源不具合。 ・タコ足配線。 ・走行ベルトの摩耗による過大負荷。 ・制限体重オーバー。
対処方法	①走行ベルトの張りを確認し、不備があれば改善する。 (参照) P24 張り調節 ②タコ足配線が無いか確認し、不備があれば改善する。 ③複数台納入の場合、他のトレッドミルと比較する。 比較方法は、走行ベルトにビニールテープなどでマークし、同速度で空回しして、マークの移動速度を比較する。 空回しで比較して、速度がずれている場合は、当社までご連絡ください。 ①～③で問題が解決しない場合は、当社までご連絡ください。 ※制限体重を超えていなくても走り方によっては、足が着いたときにベルトが遅くなったように感じられる場合があります。

## 6. トラブルが発生したとき

### ■点灯しない LED がある（数字が欠けていたり、点灯すべき LED が点灯していない）。

確認方法	LED テストモードにして LED の点灯を確認します。 正常ならば、走行者センサランプ、「距離」ランプ、「カロリー」ランプ、「速く（スタート）ランプ」、「保つ」ランプ、「遅く」ランプ、「止める」ランプと全ての数字 LED が点灯します。
対処方法	LED テストモードで点灯しない場合は、当社までご連絡ください。

### ■操作スイッチの効きが悪い。

発生要因	接点部の接触不良により、操作を受付けにくくなります。
対処方法	当社までご連絡ください。

### ■始動・停止時に走行ベルトから異音がする。

発生要因	始動直後やストップ直前に、走行ベルトと走行板との摩擦により、異音（ギユ・ギユ）が多少する場合がありますが問題はありません。
対処方法	異音が非常に大きい場合は当社までご連絡ください。

## 6-1-2 環境設定の設定値による不具合

下記の症状は環境設定の設定値によって発生する場合があります。

※故障ではありません。環境設定を確認してください。(参照) P16 環境設定

## ■トレーニングがすぐに終わってしまう。

発生要因	上限時間が短く設定されている可能性があります。
対処方法	設定を確認し必要に応じて変更してください。

## ■最高速度まで速度が上がらない。

発生要因	上限速度が低く設定されている可能性があります。
対処方法	設定を確認し必要に応じて変更してください。

## ■速度を停止したあとすぐに表示がリセットされてしまう。

発生要因	オートリセット時間が短く設定されている可能性があります。
対処方法	設定を確認し必要に応じて変更してください。

## 6. トラブルが発生したとき

### 6-2 エラーと処置

■本製品が異常を感知すると、安全のため、動作しているモータを停止し、エラー表示をします。

●走行ベルト（走行モータ）は2種類の止まり方があります。

・フリーラン停止：回転系の慣性でゆっくり止まります。走行者の体重が重いほど早く止まります。

・制御停止：「止める」スイッチを押したときのように止まります。

●過去12回のエラー内容を機能チェック（エラー履歴の表示）で確認できます。

トラブル発生時に、問題解決の手がかりとなります。

（参照）P22 エラー履歴確認モード

#### ■「E\_0」モータ制御異常

発生要因	走行ベルトを回すモータの制御機であるインバータのエラーです。過負荷（過体重、走行ベルトの摩耗）、電源電圧不足（施設の電源の不備、タコ足配線）、インバータ故障などが考えられます。
停止方法	フリーラン停止します。
解除方法	「リセット」スイッチを押すと解除できます。ただし、エラー要因を解除しなければ、再びエラーが発生します。当社までご連絡ください。

#### ■「E\_4」緊急停止

発生要因	「非常ボタン」を押したときに発生します。
停止方法	フリーラン停止します。
解除方法	一旦「電源」を切って約1分後に入れ直します。「電源」を切ってすぐに入れると正常に動作しないことがあります。

#### ■「E\_8」メモリエラー

発生要因	データを記録させるメモリが使用不能になったときに発生します。
停止方法	制御停止します。
解除方法	メモリ（電子部品）を交換するまで使用できません。当社までご連絡ください。

## ■ 「E10」 走行者検出エラー

発生要因	走行中、走行者が検出範囲から外れ、約 2 秒以内に戻らないときに発生します。
停止方法	制御停止します。
解除方法	約 2 秒後に自動的に解除します。

※正常な使用方法でもエラーが発生する場合は、故障の可能性があります。当社までご連絡ください。

(参照) P29 走行者センサについて

## ■ 「E21」 表示基板マイコンエラー

発生要因	静電気、落雷、基板不良などにより、表示基板にあるマイコンが誤動作したときに発生します。
停止方法	制御停止します。
解除方法	一旦「電源」を切って約 1 分後に入れ直します。「電源」を切ってすぐに入れると正常に動作しないことがあります。

※通常は発生しないエラーなので、頻発する場合は当社までご連絡ください。

## ■ 「E22」 スイッチ押下エラー

発生要因	スイッチが押されている状態で電源を入れた場合に発生します。
停止方法	なし
解除方法	一旦「電源」を切って約 1 分後に入れ直します。「電源」を切ってすぐに入れると正常に動作しないことがあります。

※エラーが頻発する場合は、スイッチの接触不良や故障の可能性もあります。当社までご連絡ください。

## ■ 「E23」 モータ回転異常

発生要因	走行ベルトを回すモータの回転異常のエラーです。過負荷（過体重、走行ベルトの摩耗）、インバータの故障などが考えられます。
停止方法	フリーラン停止します。
解除方法	「リセット」スイッチを押すと解除できます。ただし、エラー要因を解除しなければ再びエラーが発生します。当社までご連絡ください。

## ■ 「bELT」

発生要因	積算走行距離が 19000km を超えたとき表示されます。
対処方法	走行ベルト・走行板を交換し、走行ベルト・走行板の積算距離をリセットしてください。 P19 走行ベルト・走行板チェックモードを参照してください。

## 7. 交換部品・標準使用期間

### 7-1 交換部品一覧

劣化、摩耗または破損しても、交換することで性能・機能を維持できる主要部品です。

- ①操作スイッチ
- ②スイッチパネル
- ③非常ボタン
- ④表示基板
- ⑤走行者センサ
- ⑥走行ベルト
- ⑦走行板
- ⑧前部ローラー
- ⑨後部ローラー
- ⑩インダクションモータ
- ⑪駆動ベルト
- ⑫インバータ
- ⑬電源基板
- ⑭電源スイッチ

### 7-2 標準使用期間

当社の経験から正しいメンテナンスを実施する事により、ここまではメンテナンスにより使用可能と判断する年数を「標準使用期間」と規定。

正しいメンテナンスとは、部品個々に設けられた交換の実施や定期検査を含む。

※標準使用期間を過ぎた製品は、主要部品を交換しても全体的に劣化していますので、製品初期の性能は維持できない為、修理不可とします。

名称	標準使用期間
ラボード LXS	7年



## 8. 製品仕様

製品名	ラボード LXS
速度制御範囲	0.2～10.0km/h(0.1km/h 刻み)
走行時間	最大 99 分59秒
表示	LED:時間表示、速度表示、共通項目表示、走行者センサランプ、 「距離」ランプ、「カロリー」ランプ、「速く」(スタート)ランプ、 「保つ」ランプ、「遅く」ランプ、「止める」ランプ
トレーニングプログラム	クイックスタート
安全装置	ベルト自動停止装置(走行者センサ)、非常ボタン
走行ベルト潤滑方式	ワックス潤滑
電源	単相 100V15A
定格容量	1.5kVA
外形寸法	長さ 179cm 幅 75cm 高さ 112cm
走行面	長さ 136cm 幅 45cm 高さ 17.5cm
重量	約 120kg
使用環境	腐食性、爆発性ガス、蒸気のない屋内 周囲温度 5～35℃ 相対湿度 30～90%(ただし結露のないこと)
体重制限	110kg 以下
身長制限	140cm 以上
年齢制限	12 才以上
付属品	T 型六角棒スパナ・組み立て用部品
オプション	補助手すり

消耗品:走行ベルト、走行板、操作ボタン

注意:この製品の仕様は、製品向上のため、仕様・外観を予告なく変更されることがあります。

## 9. 付録

### 9-1 消費カロリー一覧表

体重 40kg の人の 10 分あたりの消費カロリーの目安

速度 (km/h)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消費カロリー(kcal)	10	14	17	20	24	27	54	60	67	74

体重 50kg の人の 10 分あたりの消費カロリーの目安

速度 (km/h)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消費カロリー(kcal)	13	17	21	25	30	34	67	75	84	92

体重 60kg の人の 10 分あたりの消費カロリーの目安

速度 (km/h)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消費カロリー(kcal)	16	21	26	31	36	41	81	91	101	111

体重 70kg の人の 10 分あたりの消費カロリーの目安

速度 (km/h)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消費カロリー(kcal)	18	24	30	36	41	47	94	106	117	129

体重 80kg の人の 10 分あたりの消費カロリーの目安

速度 (km/h)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消費カロリー(kcal)	21	27	34	41	47	54	107	121	134	147

※本機の表示は、60kg の人を対象にしています。